

令和7年1月14日

報道各位

一般社団法人 マンション管理業協会



マンション管理適正評価制度 登録状況等について (2024年度 第3四半期終了時点)

一般社団法人 マンション管理業協会（所在地：東京都港区、理事長：高松 茂）は、2024年度第3四半期終了時点におけるマンション管理適正評価制度の登録状況及び評価結果集計データを取りまとめましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。



<https://www.mansion-evaluationsystem.org/>

【登録状況の概要】

- 2024/12/31 時点におけるマンション管理適正評価制度への登録状況
 - ・登録数の推移
 - ・登録マンションの属性
 - ・戸数別×評価、竣工年別×評価 等

【評価結果集計データ】

- 2024/12/31 時点におけるマンション管理適正評価制度への登録マンションの評価結果の集計データ
 - ・各カテゴリーにおける獲得ポイントの平均値
 - ・評価項目毎の評価結果 など

一般社団法人 マンション管理業協会

所在地：東京都港区虎ノ門1-13-3 虎ノ門東洋共同ビル2階

理事長：高松 茂

設立：昭和54年10月

会員数：348社（令和7年1月1日現在）

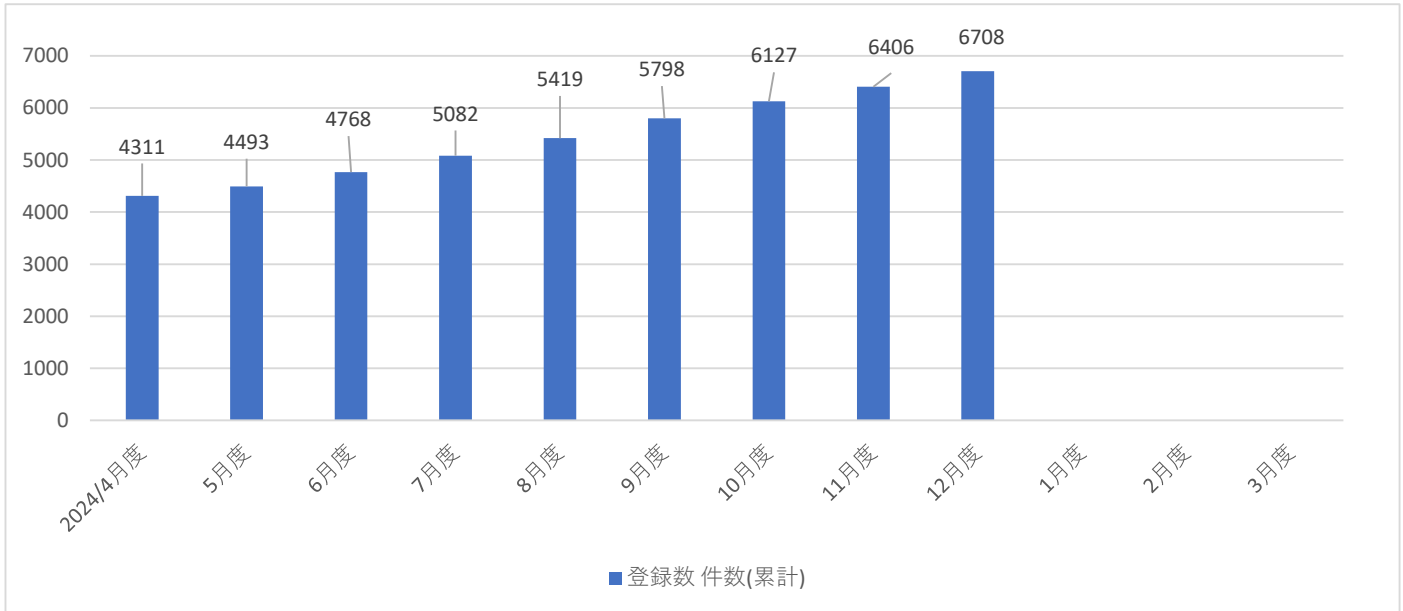
お問い合わせ先：（一社）マンション管理業協会 03-3500-2721 担当：調査部 大田 前島

マンション管理適正評価制度 登録状況

(2024年12月31日時点)

1.登録数の推移

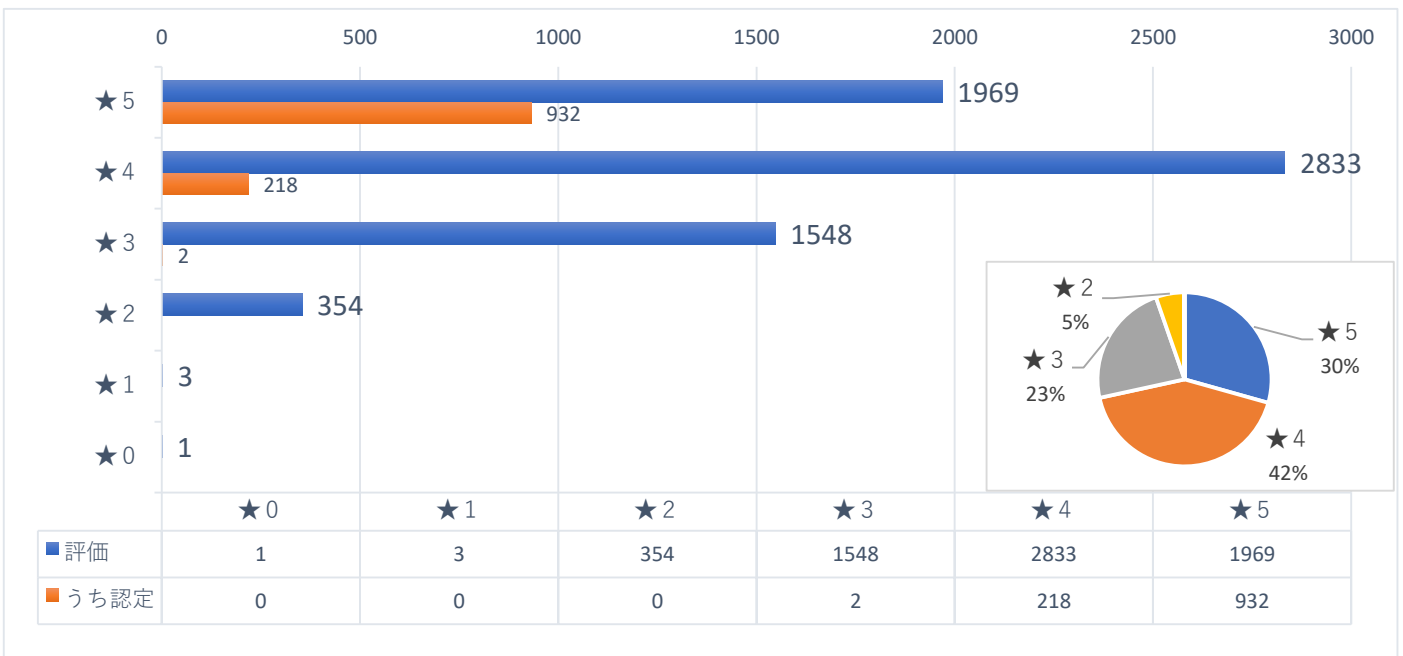
・2024年12月末現在、登録は6,708件（前回5,798件より、+910件増）



2.評価別登録数

(n=6,708)

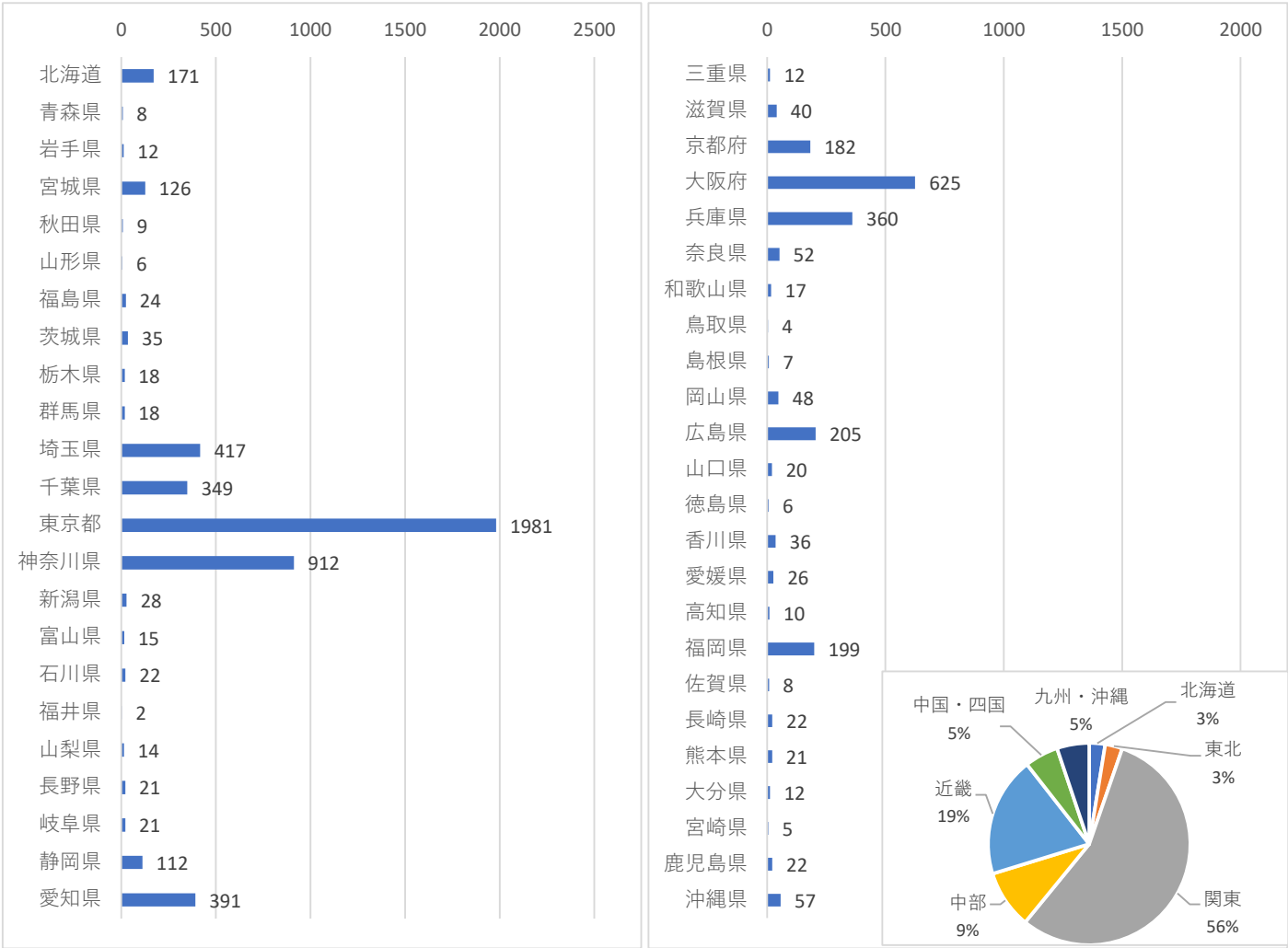
・最も多い登録は、★★★★：2,833件（全体の約42.2%）
 ・ワンストップサービスで申請し、認定取得したマンションは、1,152件



3.都道府県別登録マンションの割合

(n=6,708)

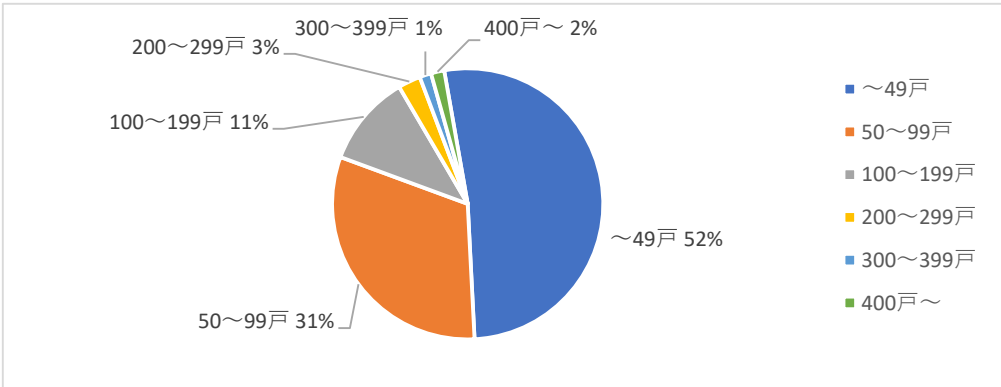
- ・最多登録都道府県：東京都（全体の29.5%）
- ・続いて、神奈川県、大阪府、埼玉県、愛知県、兵庫県、千葉県、広島県、福岡県、京都府となっている。



4.戸数別登録マンションの割合

(n=6,708)

- ・最多戸数帯：50戸未満（全体の52%）
- ・最大戸数：1,433戸
- ・最小戸数：5戸



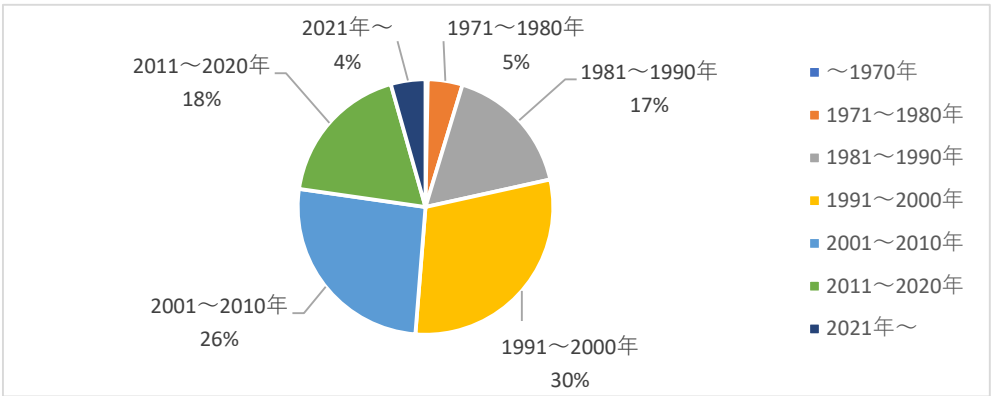
5.竣工年別登録マンションの割合

(n=6,708)

- ・最多竣工年帯　： 1 9 9 1 年～ 2 0 0 0 年竣工（全体の 3 0 %）

・最も築古のマンション： 1 9 6 5 年竣工（築 5 9 年）

・最も築浅のマンション： 2 0 2 3 年竣工（築　 1 年）

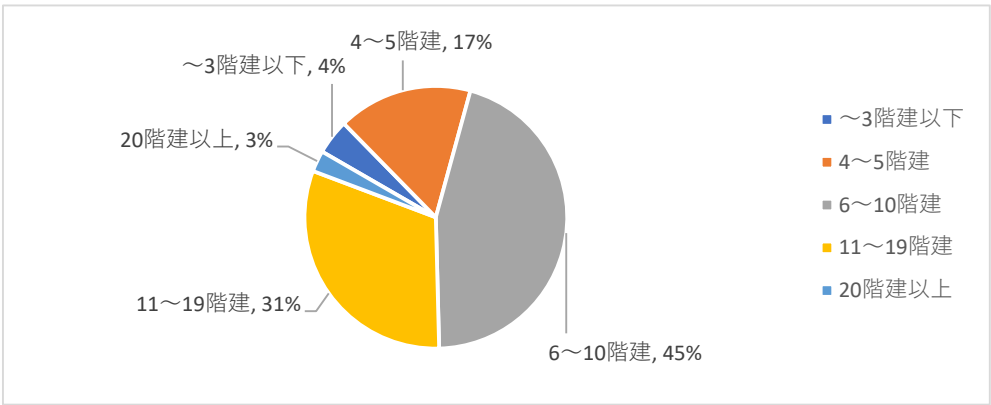


6.階数別登録マンションの割合

(n=6,708)

- ・最多階数帯　　： 6 ～ 1 0 階建（全体の 4 5 %）

・最も階数が多いマンション　： 6 0 階建

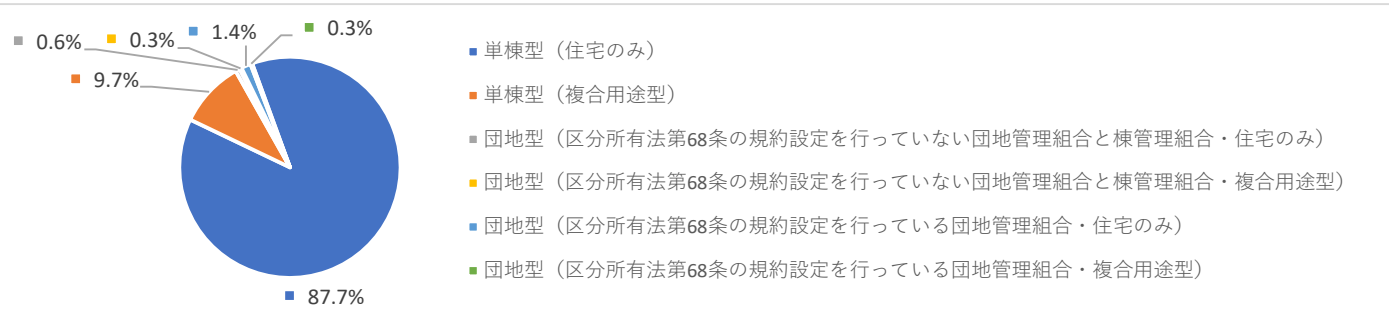


7.管理組合の形態

(n=6,708)

- ・最も多い形態　： 単棟型（住宅のみ）（全体の 8 7 . 7 %）

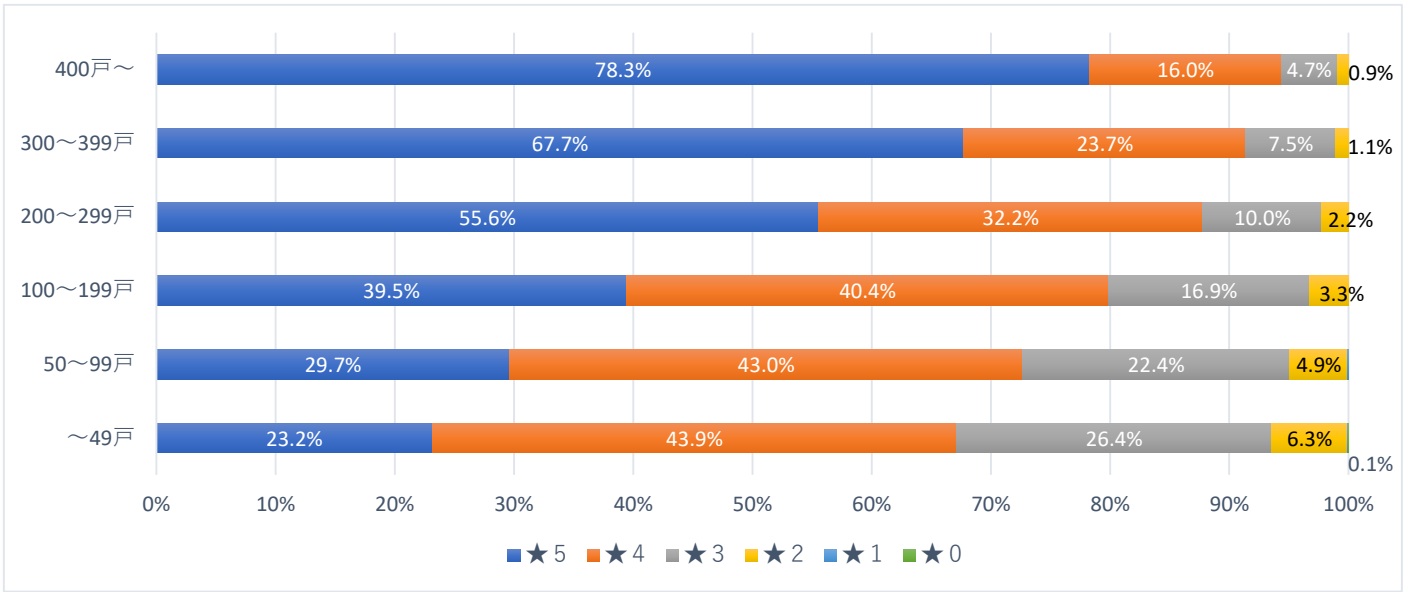
・単棟型（複合用途型）を加えると、単棟型の全体の割合　： 9 7 . 4 %



8.評価×戸数別登録数

(n=6,708)

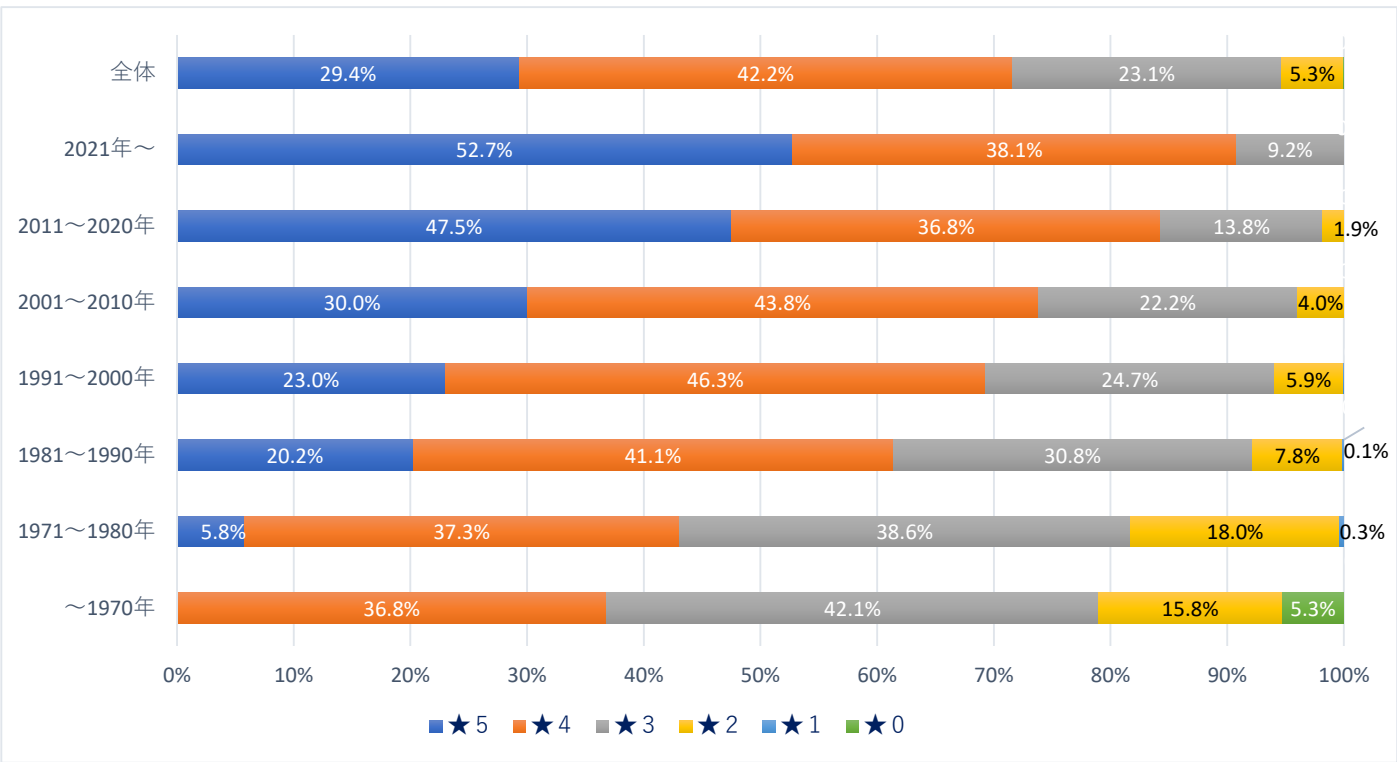
- ・400戸以上の★5の割合：78.3%
 - ・50戸未満の★5の割合：23.2%



9.評価×竣工年別登録数

(n=6,708)

- ・2021年～竣工の★5の割合：52.7%
 - ・1971年～1980年竣工（築40～50年程度）においても★5獲得あり（同築年全体の5.8%）



マンション管理適正評価制度 評価結果集計データ

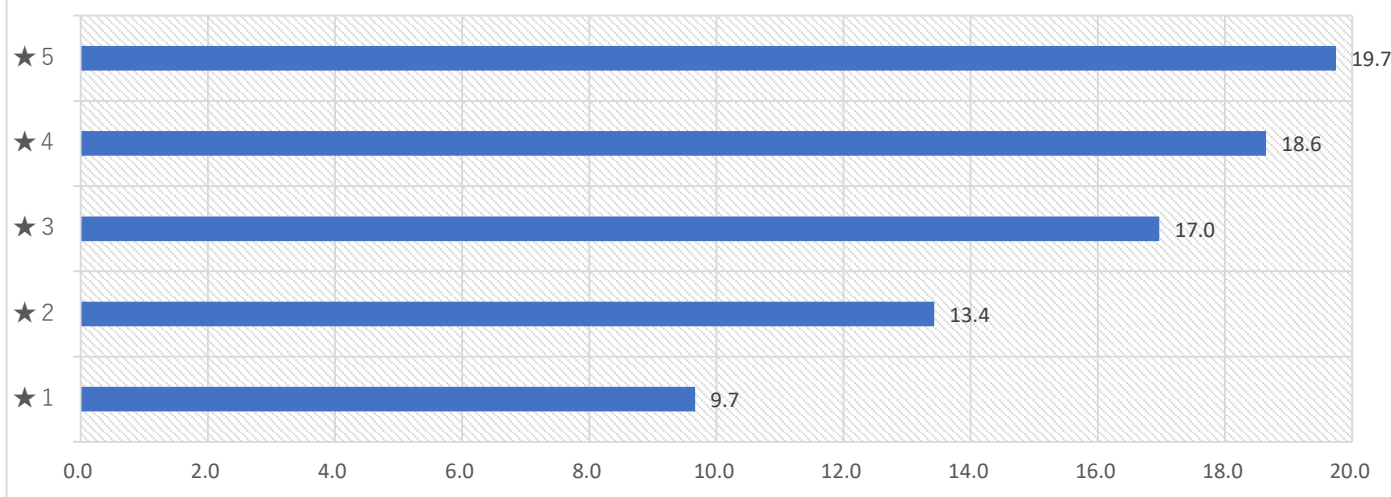
(2024年12月31日時点 n=6,708)

1. 管理体制のポイント (平均：18.30点/20点満点) ※前回より、+0.12P増

1-①. ★の数毎の平均獲得ポイント

(n=6,708)

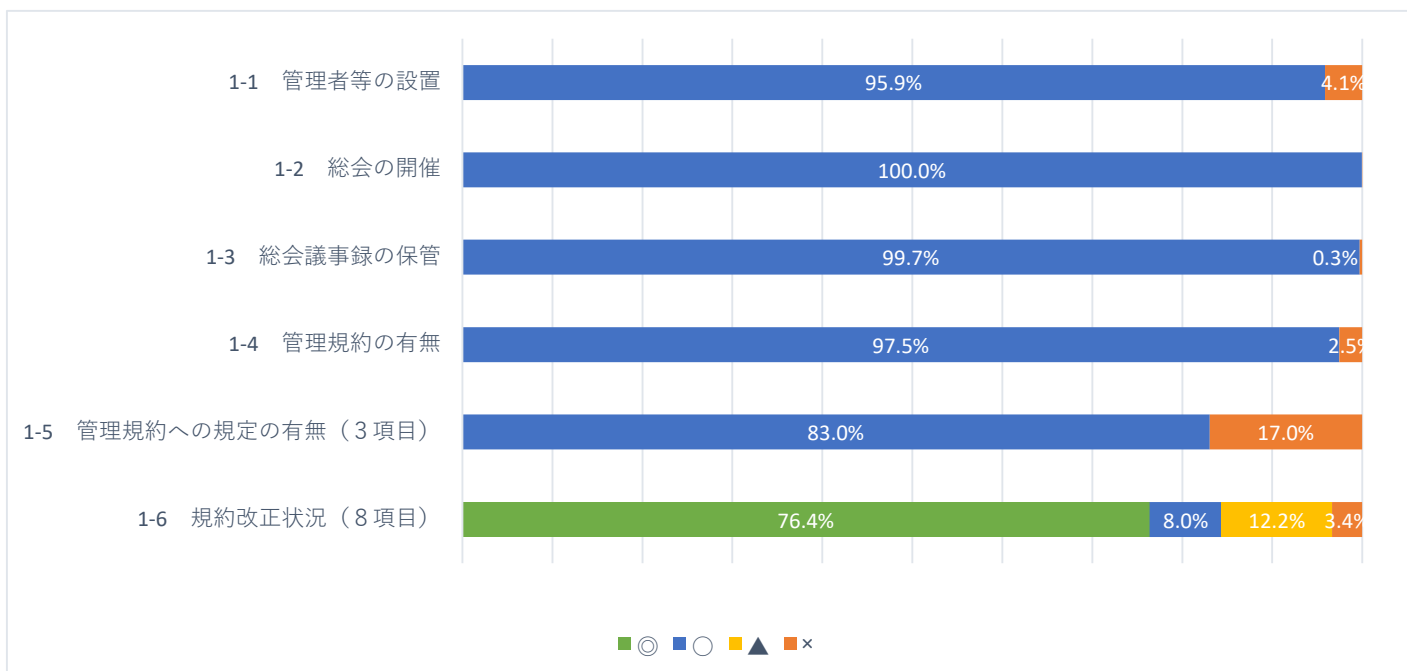
- ・★5の平均獲得ポイント：19.7P
- ・★2の平均獲得ポイント：13.4P
- ・★5と★2の差：6.3P ※1-5、1-6が影響大



1-②. 各項目の評価結果内訳

(n=6,708)

- ・「1-5」管理計画認定基準項目にも掲げられている、3つ全ての規定「あり」：83.0% ※前回から+1.6P増
- ・「1-6」平成28年に改正された主要8項目全てに「準拠している」：76.4% ※前回から+1.7P増
- 「準拠していない」：23.6% (全く準拠してない：3.4%)

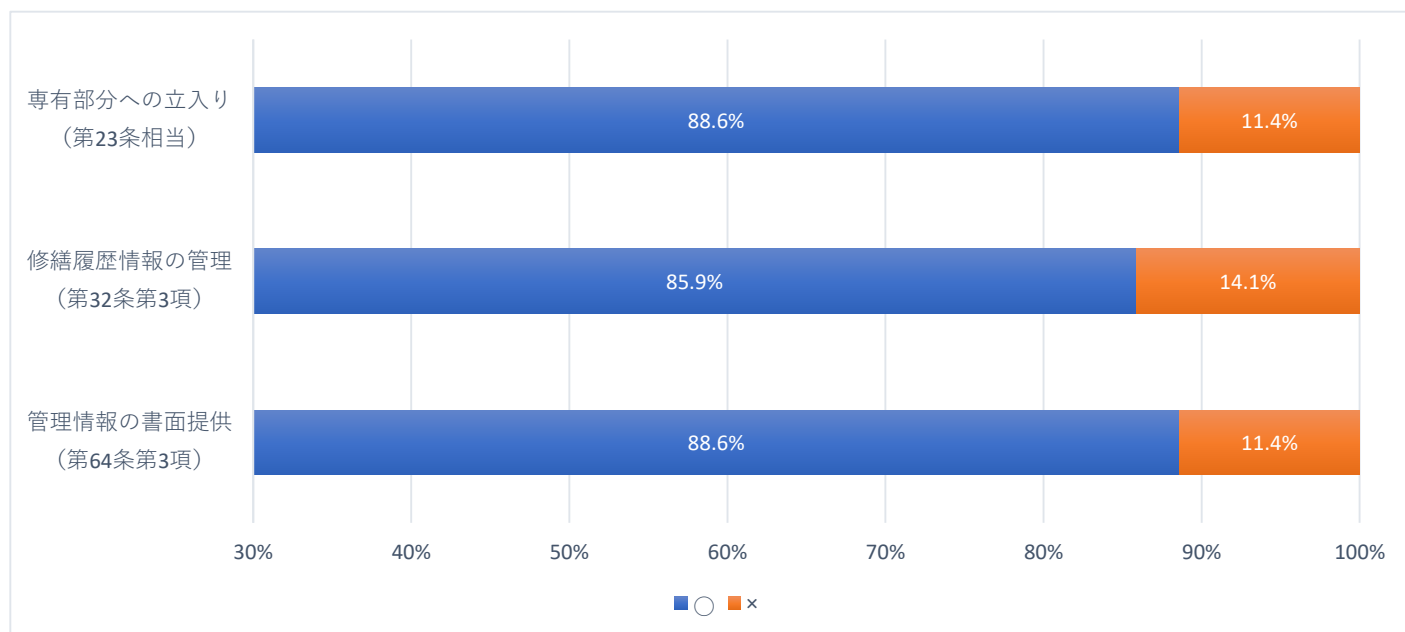


以上のことから、1-5に掲げられている規約の規定、並びに1-6に掲げられている規約改正が、今後の加点要因であり、各マンションの規約改正により、ランクアップが期待できる。

1－③. 上記1－②. 「1－5 管理規約への規定の有無」における、各規定の評価結果内訳

(n=6,708)

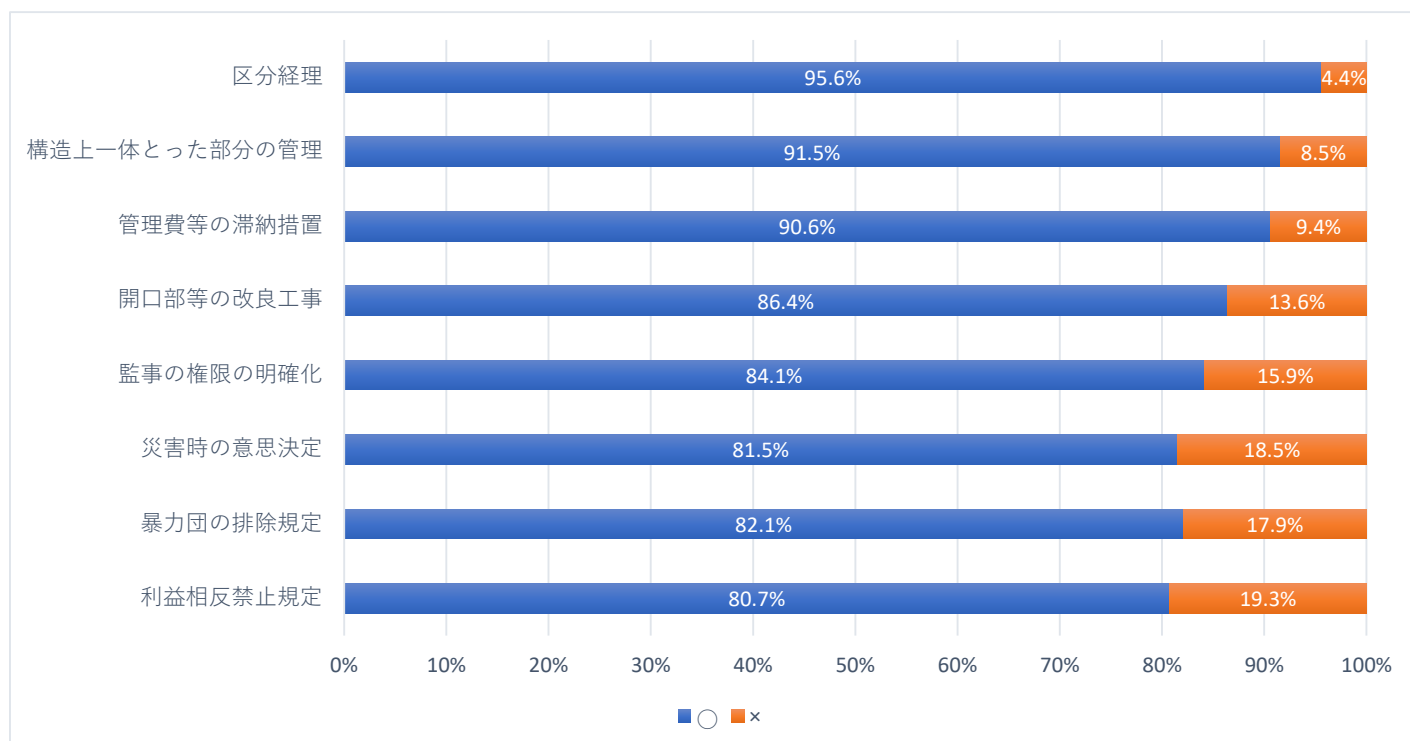
- ・災害等の緊急時や管理上必要な時の専有部分の立入り規定（第23条）「なし」は、**11.4%** ※前回より、**1.1P改善**
- ・修繕等の履歴情報の管理等についての規定（第32条第6号）「なし」は、**14.1%** ※前回より、**1.2P改善**
- ・管理組合の財務・管理に関する情報の書面交付規定（第64条第3項）「なし」は、**11.4%** ※前回より、**1.2P改善**



1－④. 上記1－②. 「1－6 規約改正状況」における、各規定の評価結果内訳

(n=6,708)

- ・修繕積立金に関する定め及び修繕積立金の区分経理とする定め（第28条第5号）「なし」 **4.4%**
※前回より▲**0.3P減（改善）**
- ・専有部分の設備のうち共用部分と構造上一体となった部分の管理を管理組合が行うことができる定め（第21条第2号）「あり」：
91.5%※前回より、**+0.8P増**
- ・災害時の管理組合の意思決定（理事会議決事項）の定め（第54条第1号十項）「あり」：**81.5%**
※前回より、**+1.5P増**

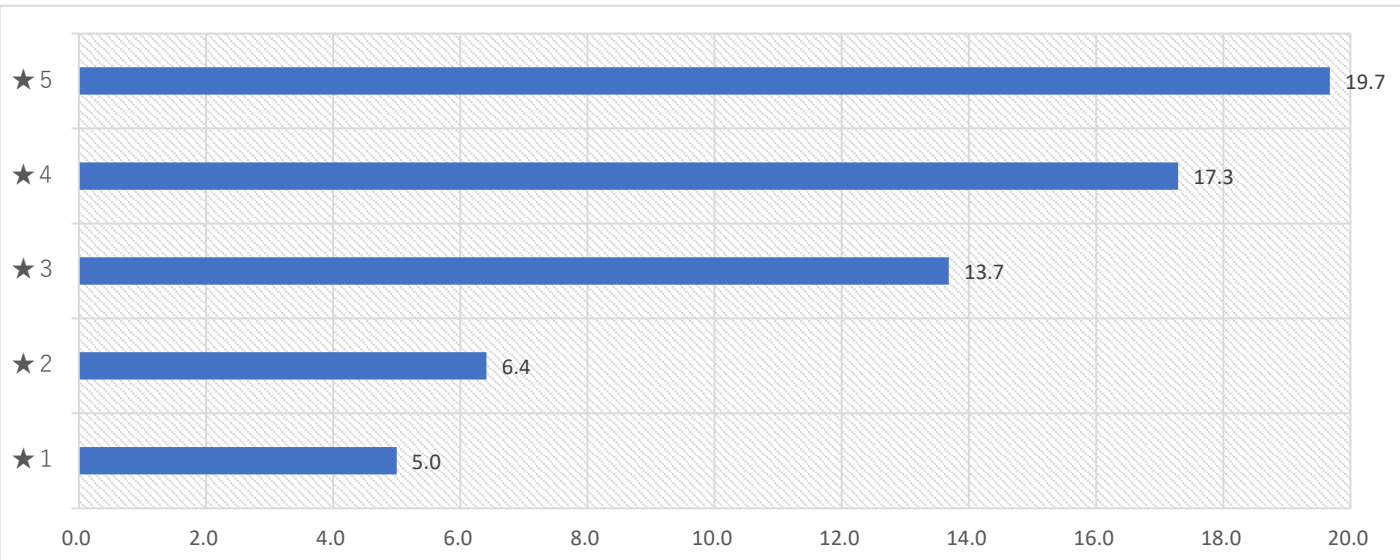


2. 建築・設備のポイント（平均：16.57点／20点満点）※前回から+0.16P増

2－①. ★の数毎の平均獲得ポイント

(n=6,708)

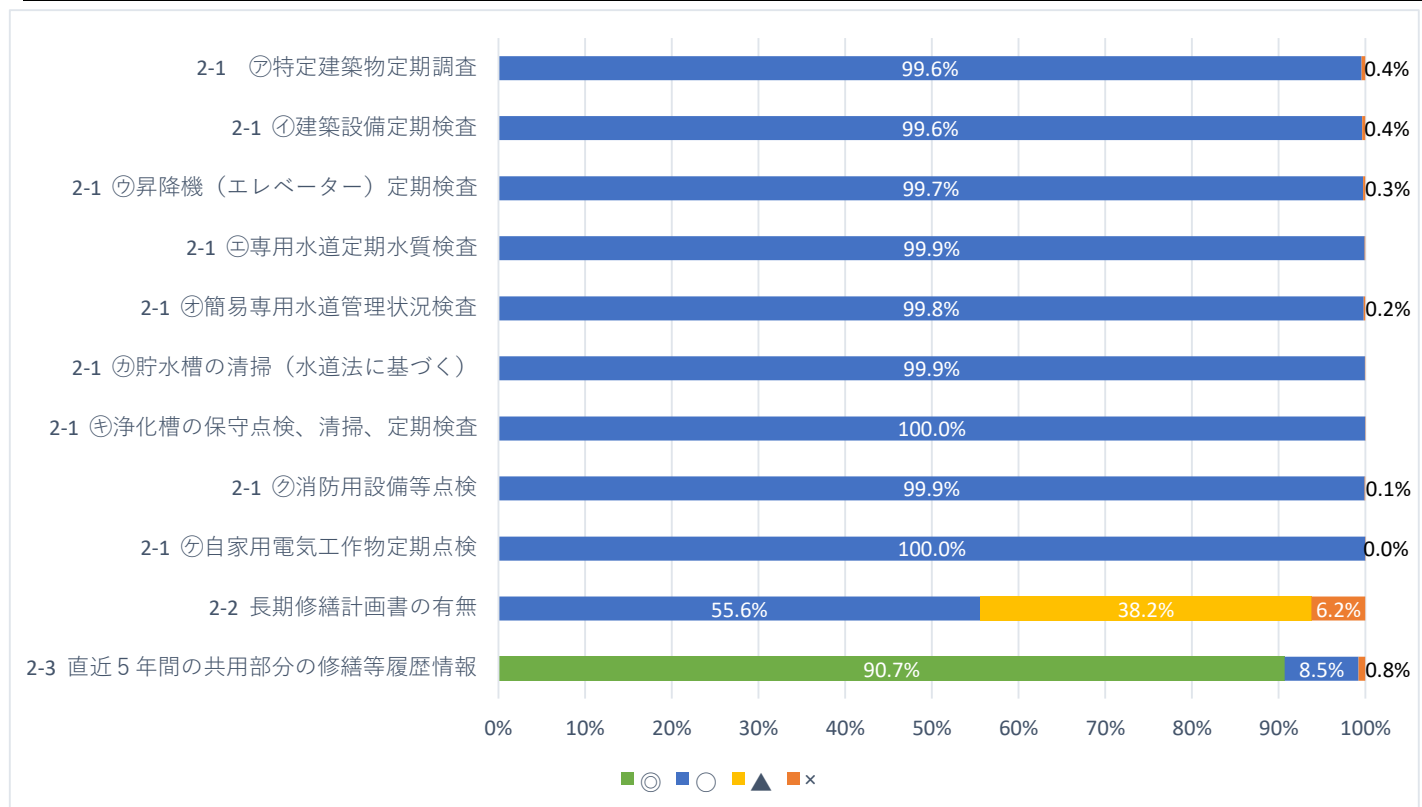
- ・★5の平均獲得ポイント：19.7P
- ・★2の平均獲得ポイント：6.4P
- ・★5と★2の差：13.3P ※2－2の評価結果が影響大



2－②. 各項目の評価結果内訳

(n=6,708)

- ・「2－2」総会承認された「長期修繕計画書」が、「ある」：93.8% ※前回より、+1.0P増
 ➡そのうち、全ての要件に準拠した長期修繕計画が、「ある」：55.6% ※前回より、+1.3P増
- ・「2－3」共用部分の修繕等の竣工図書について、「保管ができています（修繕実績なしを含む）」：90.7% ※前回より、+0.2P増加

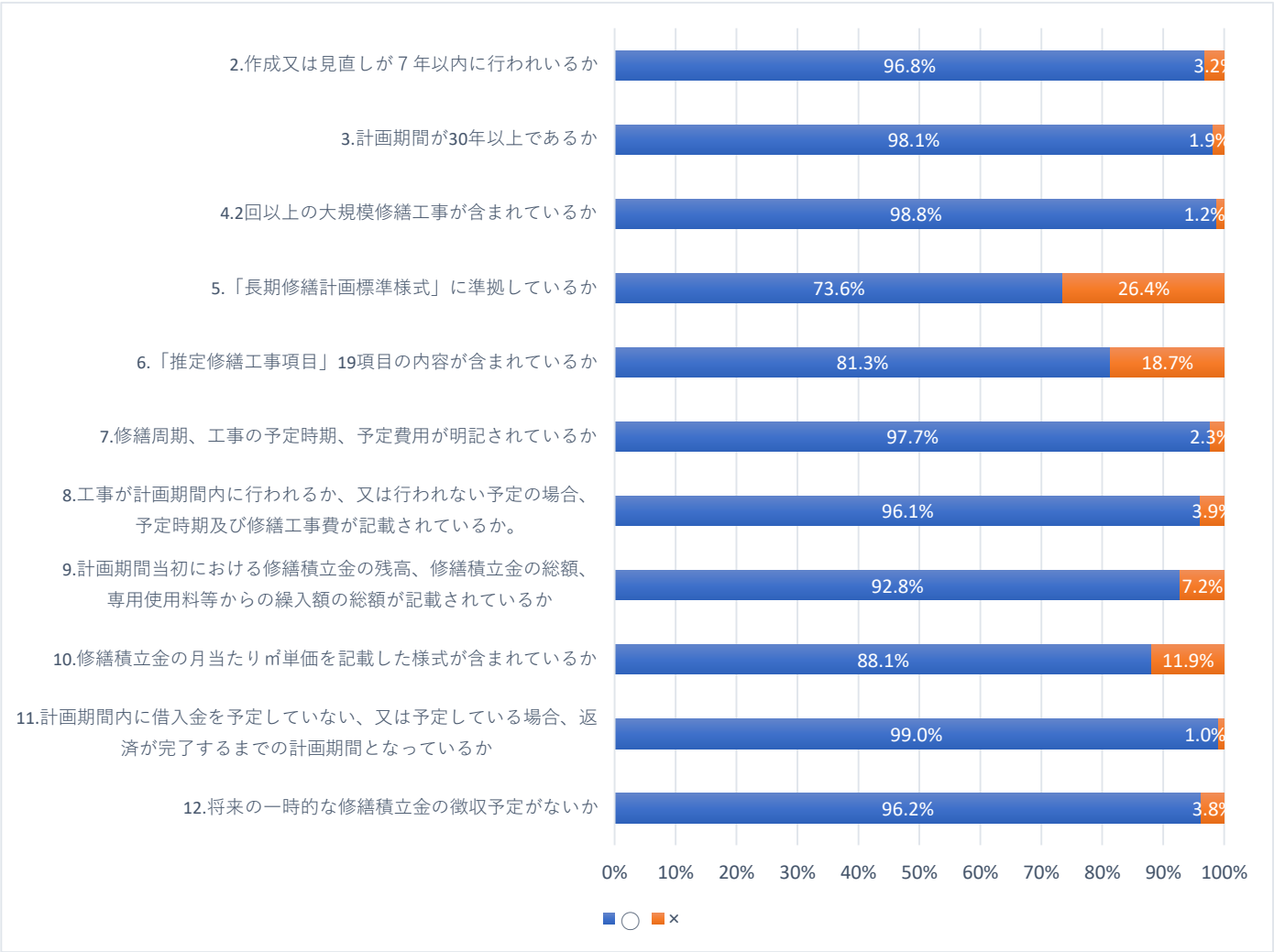


以上のことから、2－2 認定基準の要件に準拠した「長期修繕計画」の作成、並びに総会承認が、今後の加点要因であり、改善することで、ランクアップが期待できる。

2－③. 長期修繕計画書において、各要件への準拠状況

(n=6,708)

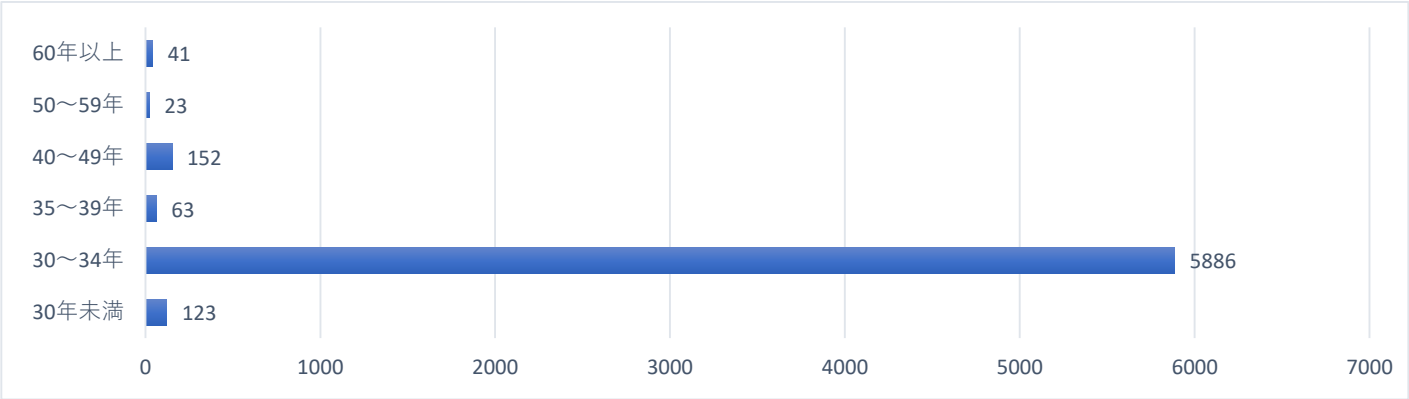
- ・長期修繕計画標準様式に、「準拠している（黒字計画等）」：73.6% ※前回より、+0.8P増
- ・推定修繕工事項目19項目の内容が、「含まれていない」：18.8% ※前回より、▲0.3P減（改善）
- ・㎡単価を記載した様式が、「含まれていない」：11.9% ※前回より、▲1.0P減（改善）



2－④. 長期修繕計画の計画期間

(n=6,288 ※総会承認済)

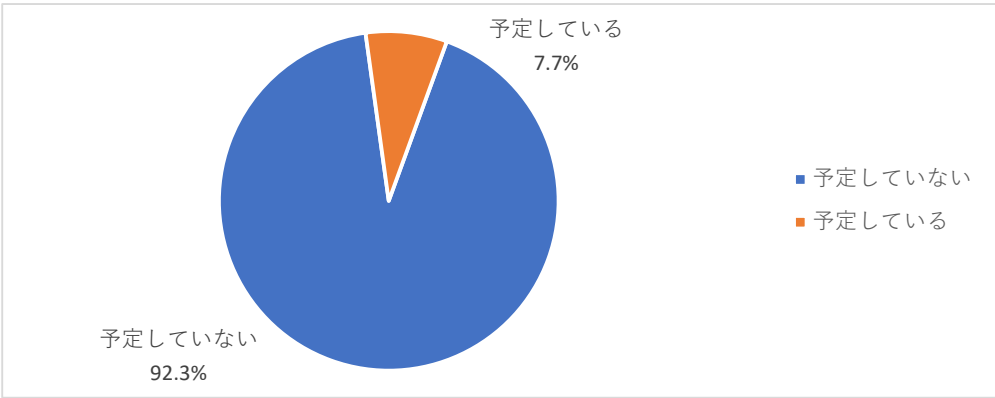
- ・計画期間30年で作成されている割合：98.0% ※前回より、0.1P増
- ・最も長い計画期間：100年



2-⑤. 総会承認された長期修繕計画において、将来借入金を予定している（現在、返済中のも含む）割合

(n=6,288 ※総会承認済)

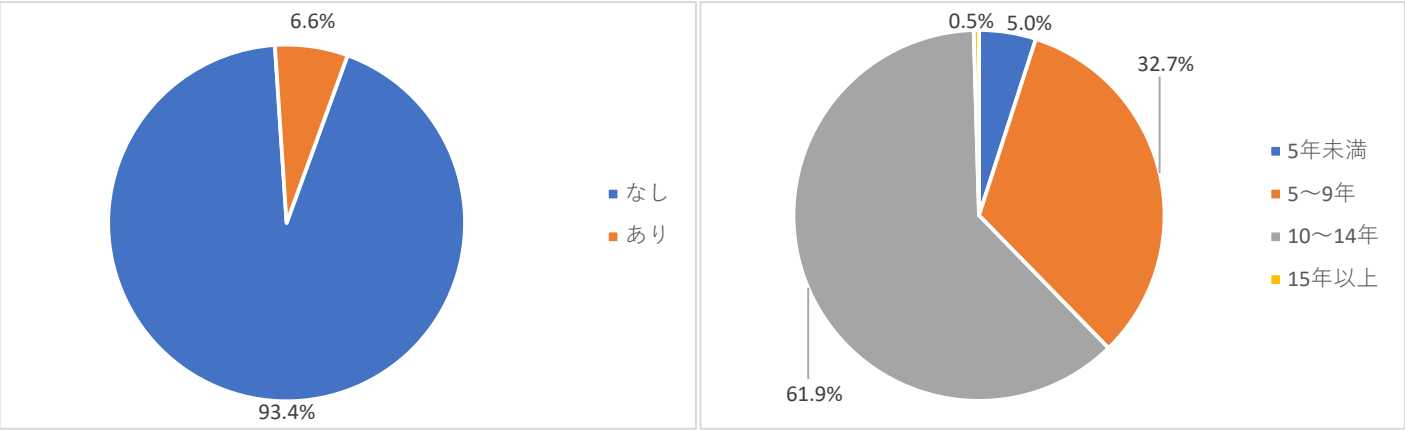
・借入金を予定している（現在、返済中のも含む）：7.7%



2-⑥. 現在、返済中の借入金が「ある」割合及び借入期間

(n=6,708)

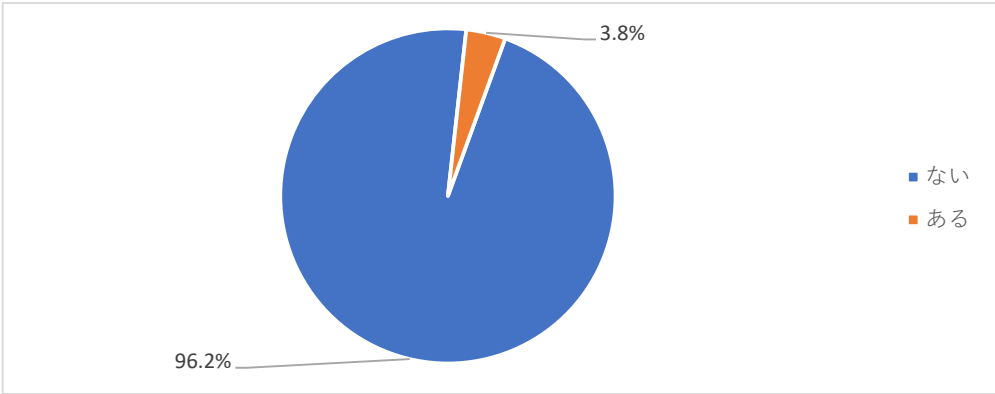
・現在、返済中の借入金がある：6.6%
・最も多い返済期間は、10～14年：61.9%
・最長の返済期間：20年



2-⑦. 総会承認された長期修繕計画において一時金を予定している割合

(n=6,288 ※総会承認済)

・長期修繕計画上、将来の一時的な修繕積立金の徴収予定が、「ある」：3.8% **前回より、+0.2P増（悪化）**

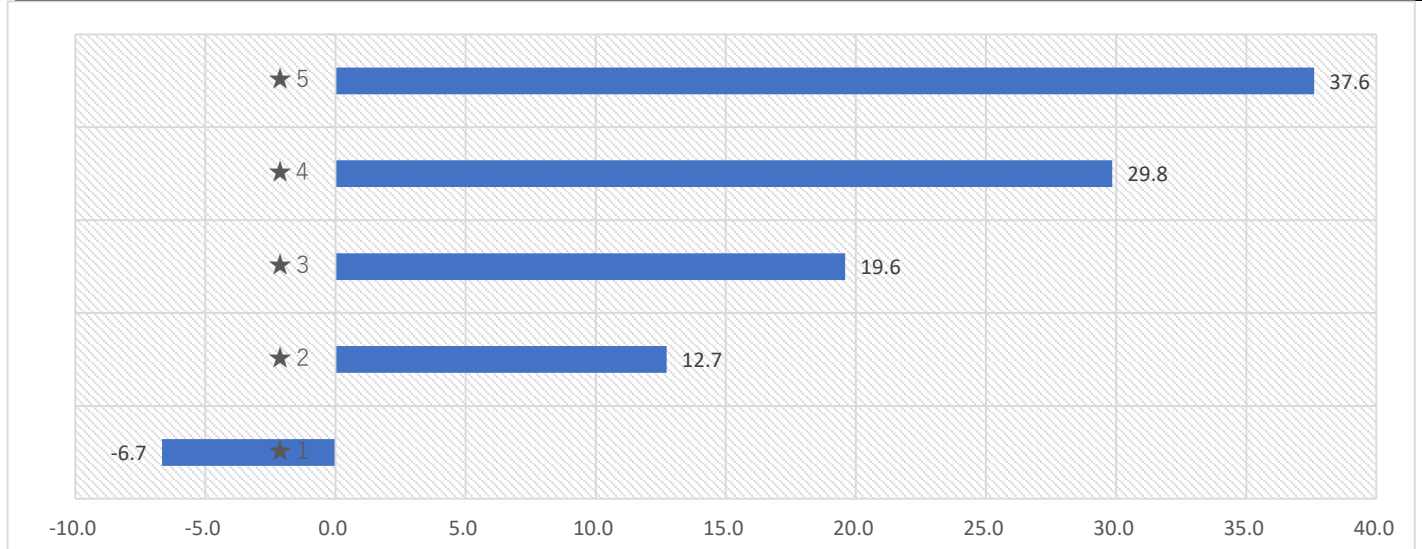


3. 管理組合収支のポイント（平均：28.83点／40点満点） ※前回から+0.27P増

3－①. ★の数毎の平均獲得ポイント

(n=6,708)

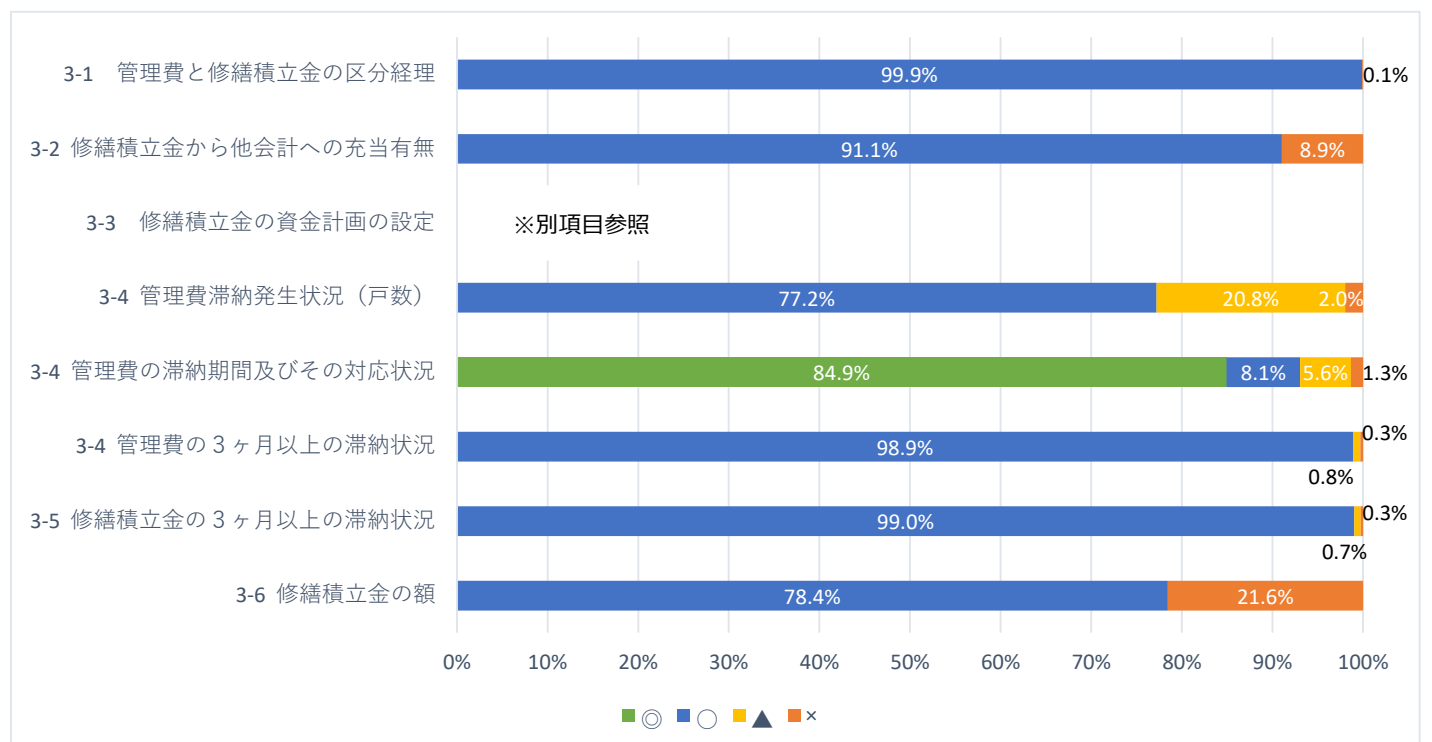
- ・★5の平均獲得ポイント：37.6P
- ・★2の平均獲得ポイント：12.7P
- ・★5と★2の差：24.9P ※3－6の評価結果が影響大



3－②. 各項目の評価結果内訳

(n=6,708)

- ・「3－4」決算日時点で発生している管理費の滞納住戸数の10%以内の割合（○・▲が対象）：98.0%
- ・「3－4」直前事業年度内における管理費の支払期限3ヶ月以上経過の滞納率10%以内（○が対象）：98.9%
- ・「3－5」直前事業年度内における修繕積立金の支払期限3ヶ月以上経過の滞納率10%以内（○が対象）：99.0%
- ・「3－6」修繕積立金の額が著しく低額でない：78.4% ※前回から+1.4P増

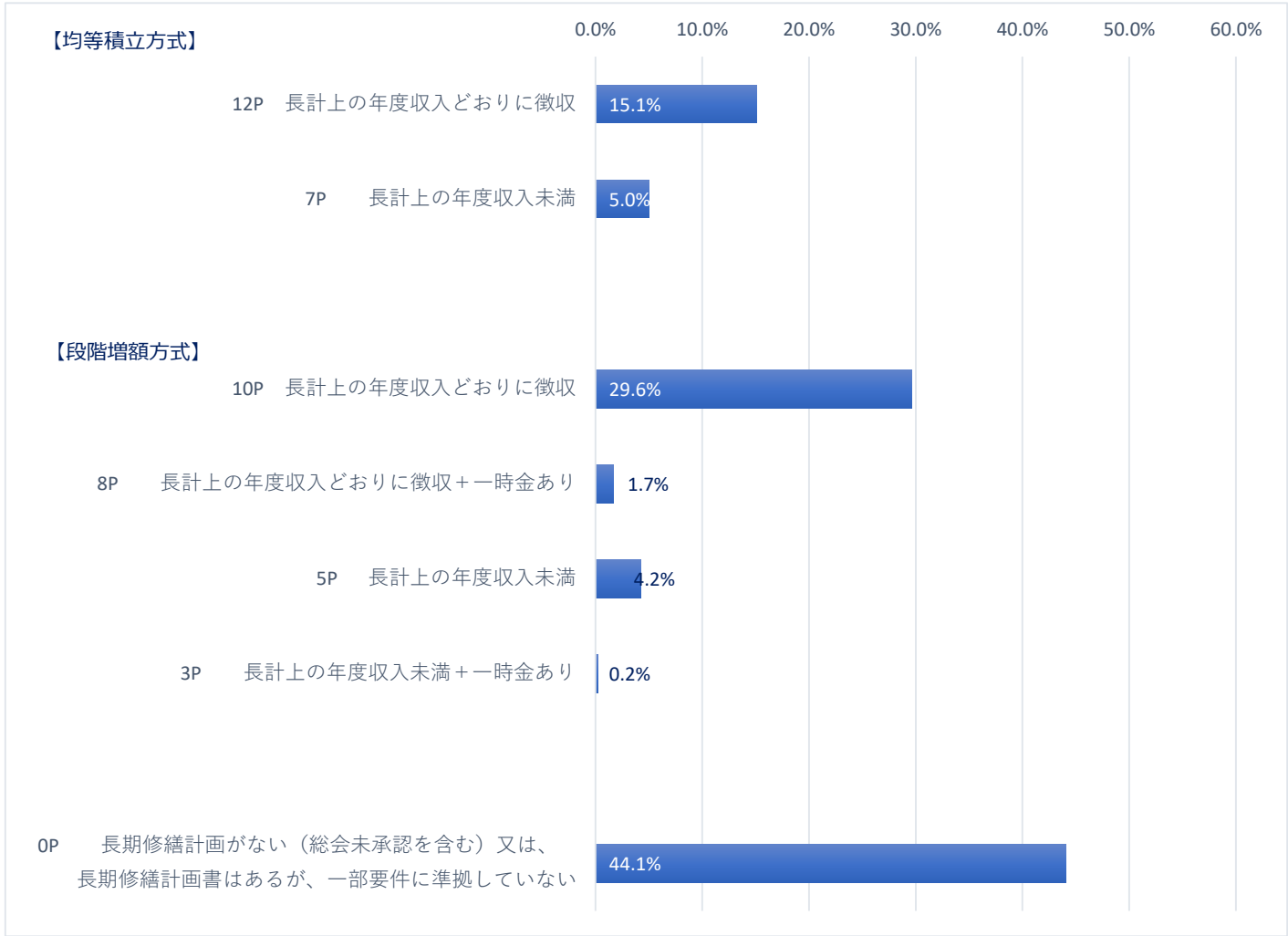


以上のことから、3－6国の基準額を上回る修繕積立金の設定が、今後の加点要因であり、改善することで、ランクアップが期待できる。

3-3. 「3-3」修繕積立金の資金計画設定の評価の内訳①

(n=6,708)

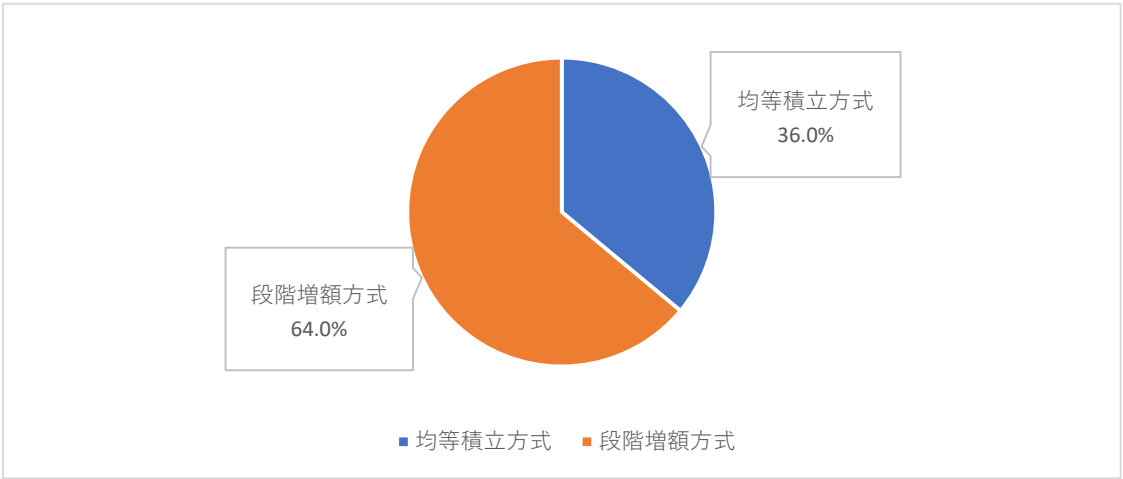
・12ポイント獲得（均等積立方式：計画どおりに徴収できている）	：15.1%
・10ポイント獲得（段階増額方式：計画どおりに徴収できている）	：29.6%
・0ポイント	：44.1%



3-4. 「3-3」修繕積立金の資金計画設定の評価の内訳②

(n=3,751（総会承認済＋要件に全て準拠）)

均等積立方式の割合	：36.0%
段階増額方式の割合	：64.0%

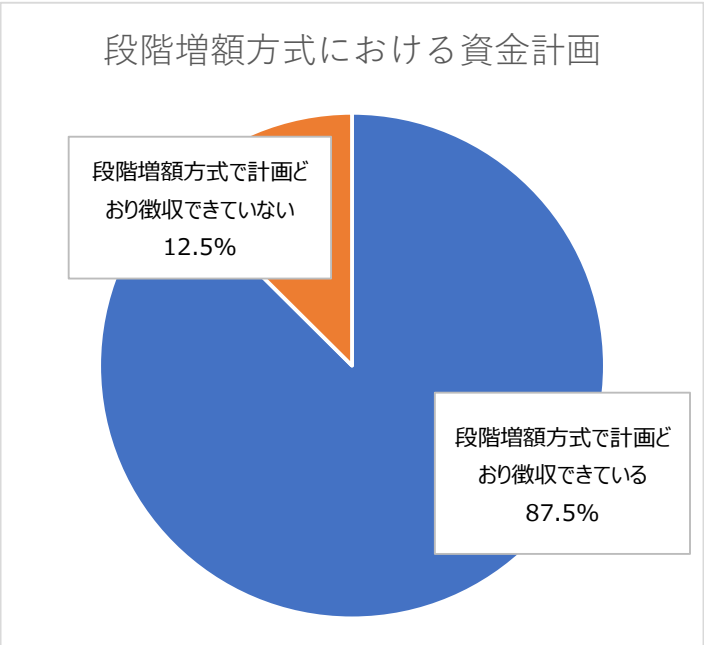
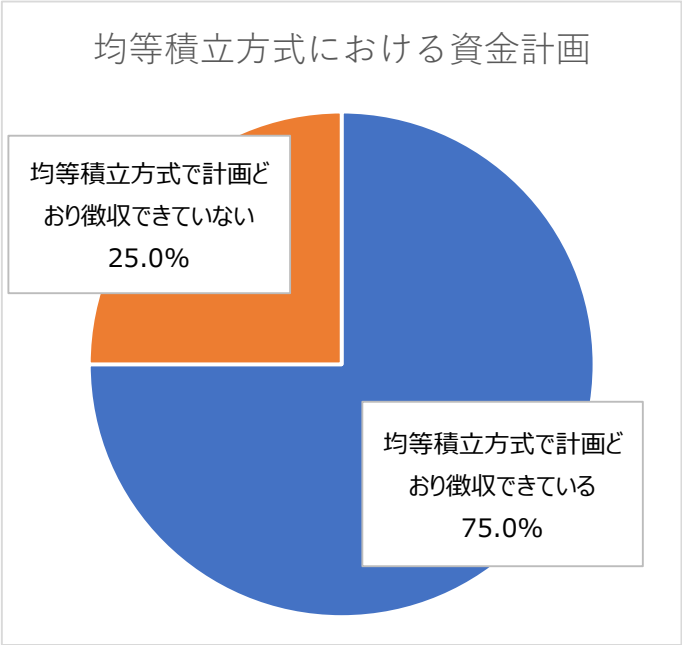


3－⑤ 総会承認済で要件に全準拠した資金計画設定において、計画どおり徴収できているかどうか

(n=3,751)

・均等積立方式で計画どおり徴収されている	27.0%
・段階増額方式で計画どおり徴収されている	55.9%
・均等積立方式で計画どおり徴収できていない	9.0%
・段階増額方式で計画どおり徴収できていない	8.1%

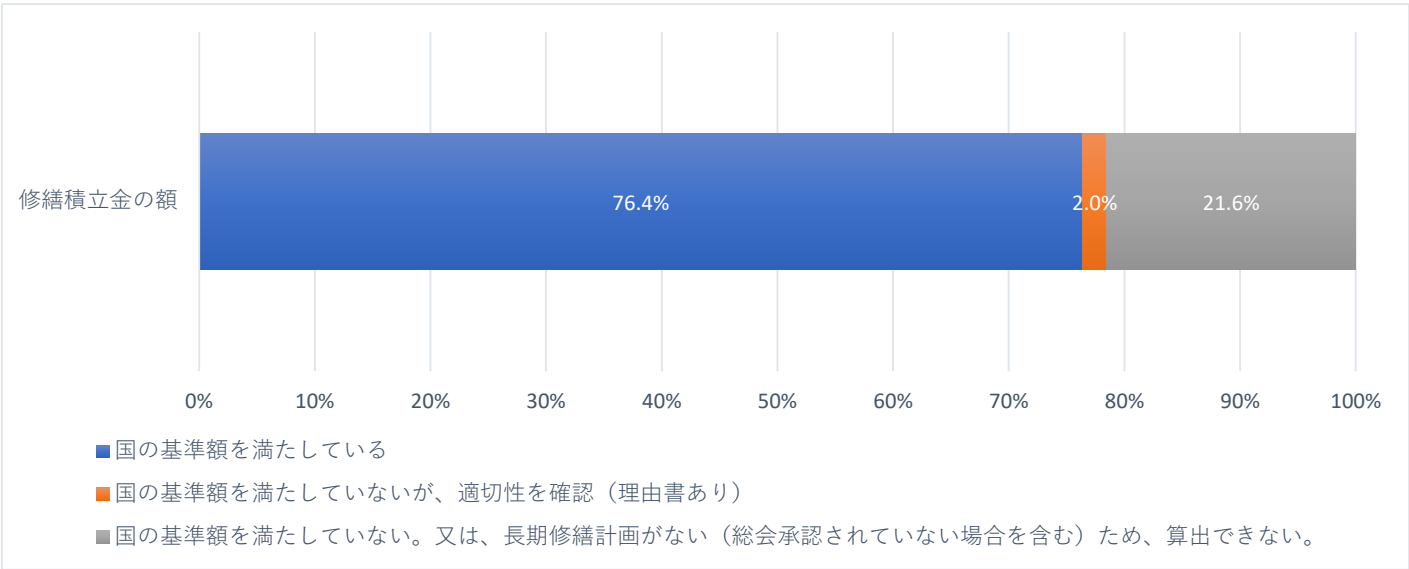
(n=1,352) (n=2,399)



3－⑥. 修繕積立金の額（平均額：ガイドラインによる算出方法）

(n=6,708)

・長期修繕計画期間全体で、修繕積立金の総額から算定された修繕積立金の平均額が、国の基準額を満たしている割合	： 76.4%
---	---------

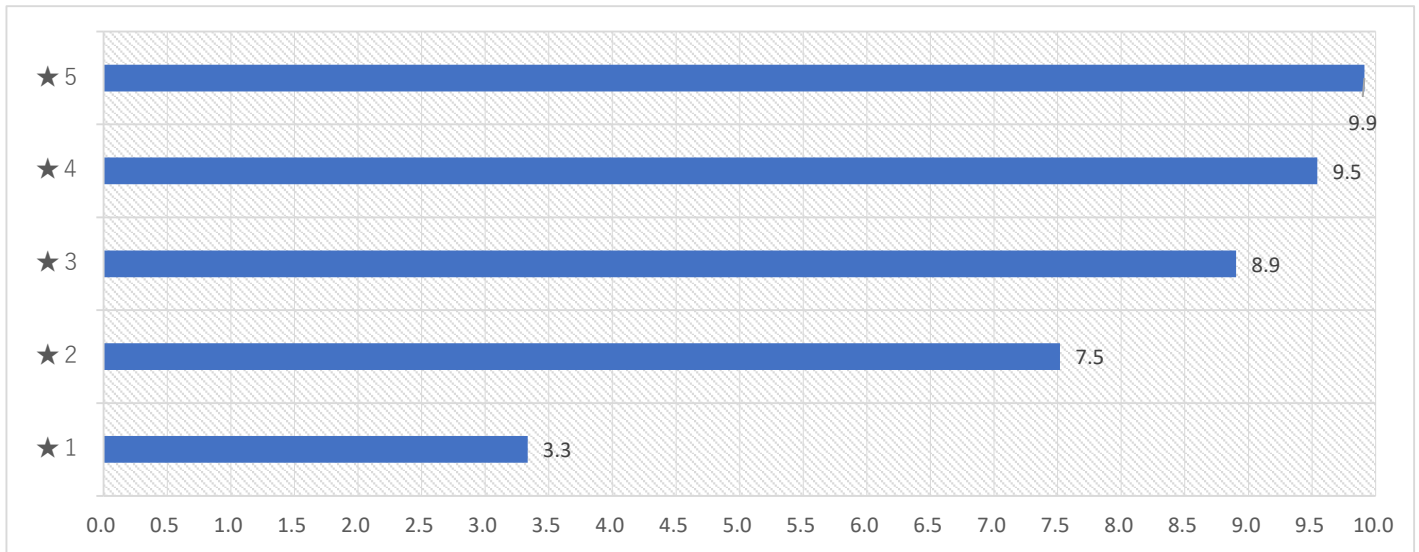


4. 耐震性のポイント（平均：9.39点／10点満点）※前回より、+0.01P増

4－①. ★の数毎の平均獲得ポイント

(n=6,708)

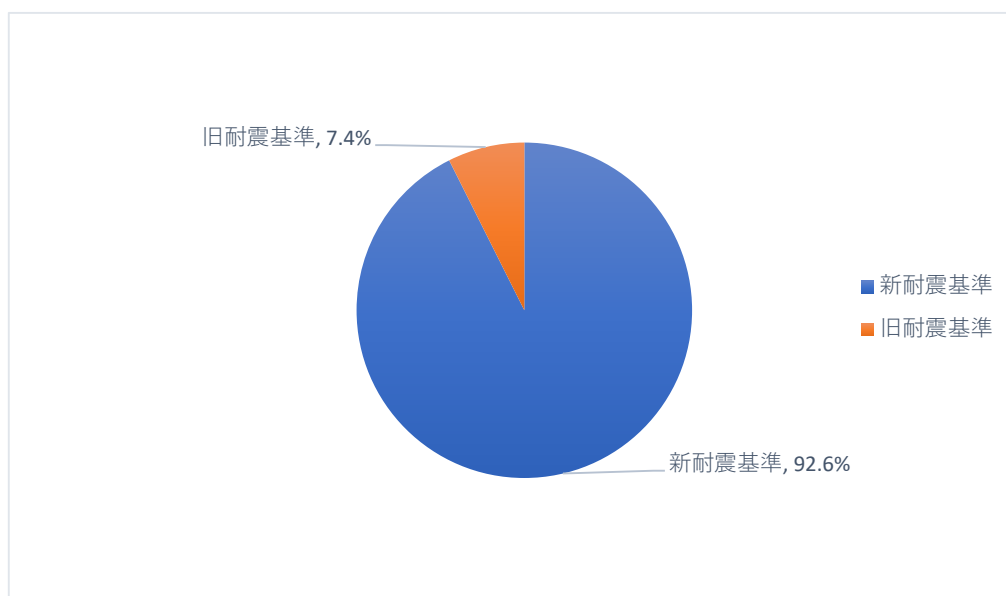
- ・★5の平均獲得ポイント：9.9P
- ・★2の平均獲得ポイント：7.5P
- ・★5と★2の差：2.4P



4－②. 新耐震基準と旧耐震基準の割合

(n=6,708)

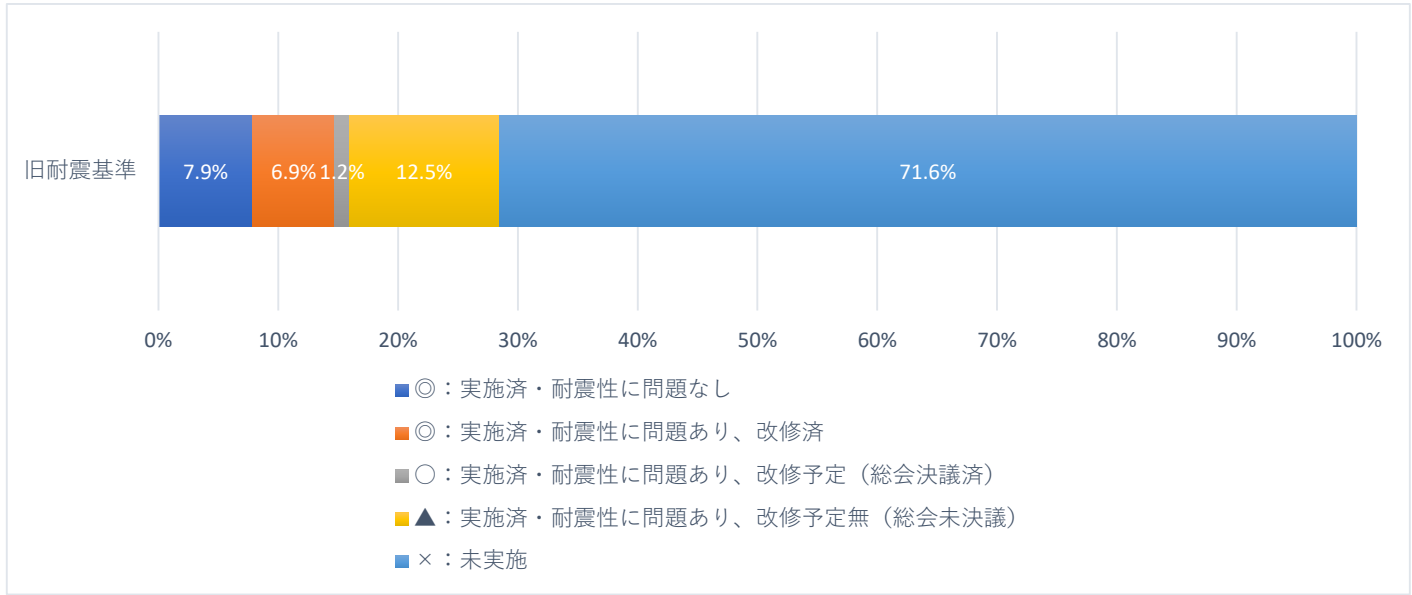
- ・新耐震基準の割合：92.6%
- ・旧耐震基準の割合：7.4%



4－③. 旧耐震基準の耐震診断実施状況

(n=496)

- ・耐震診断を実施し、耐震性に問題なし、又は、耐震性に問題あったが、改修済の割合　： 1 6 . 0 %
 - ・耐震診断を実施したが、改修予定なしの割合　： 1 2 . 5 %
 - ・耐震診断未実施の割合　： 7 1 . 6 %

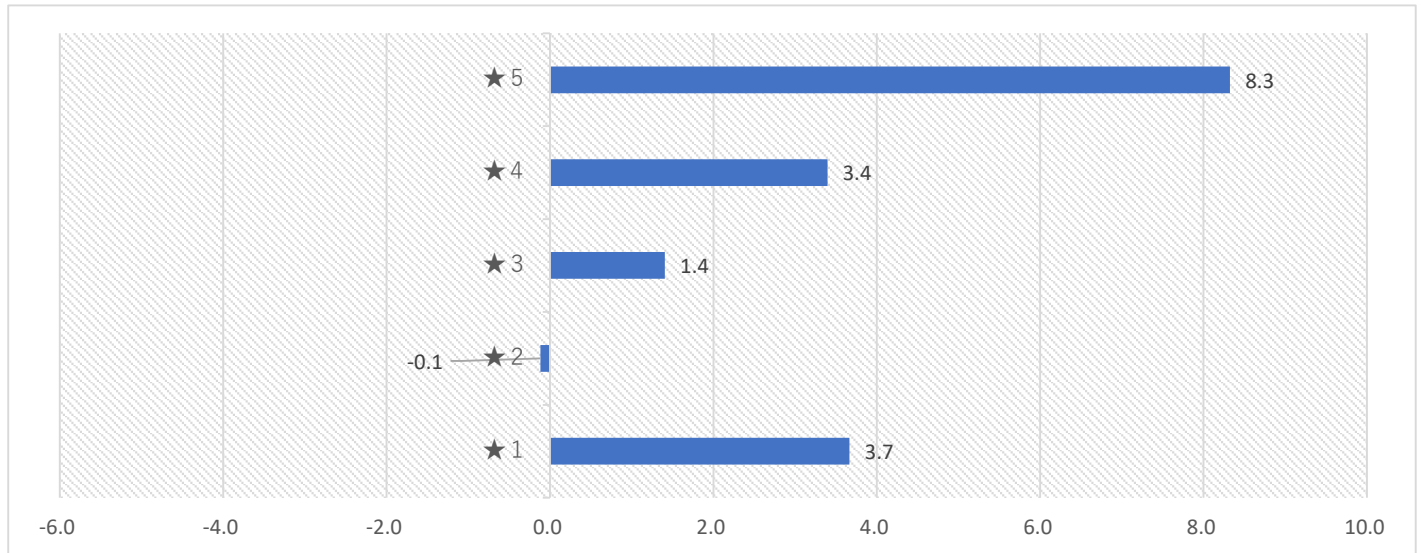


5. 生活関連のポイント（平均：4.20点／10点満点）※前回から+0.07P増

5－①. ★の数毎の平均獲得ポイント

(n=6,708)

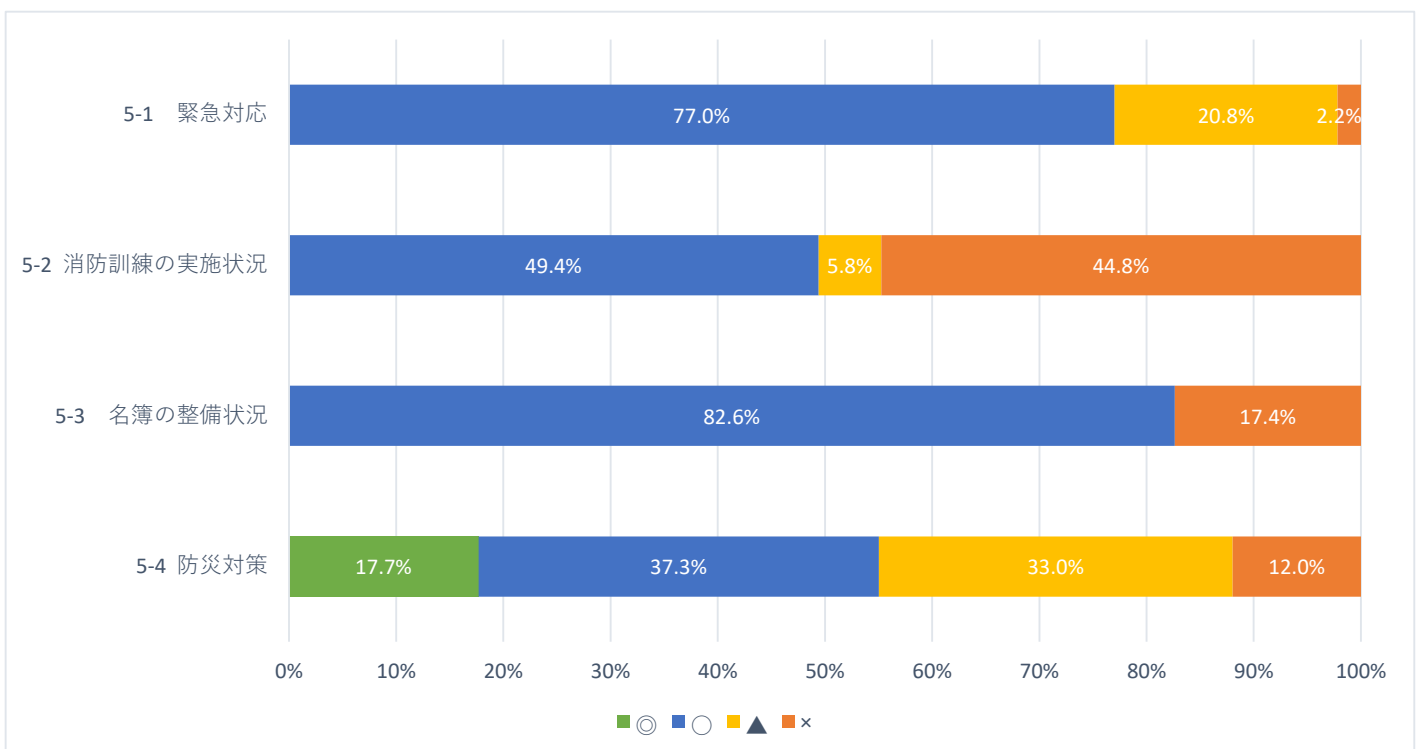
- ・★5の平均獲得ポイント：8.3 P
- ・★2の平均獲得ポイント：-0.1 P
- ・★5と★2の差：8.4 P



5－②. 各項目の評価結果内訳

(n=6,708)

- ・「5－1」設備等の警報発報による緊急対応の体制「あり」の割合：77.0% ※前回より、+0.9P増
- ・「5－2」消防訓練を実施していない割合：44.8% ※前回から0.4P減(改善)
- ・「5－3」区分所有者名簿及び居住者名簿を備えている割合：82.6% ※前回から+0.7P増
- ・「5－4」防災対策が何らか講じられている割合：88.1% ※前回から、▲0.1P減(悪化)



以上のことから、5－2 消防訓練の実施有無が、今後の加点要因であり、実施することで、ランクアップが期待できる。

5－③.「5－4」防災対策の各項目の評価結果の内訳

(n=6,708)

- ・災害時の避難場所の周知「できている」割合：61.3% ※前回から、▲0.5P減（悪化）
 - ・災害対応マニュアル等の作成・配布が「できていない」割合：64.0% ※前回から▲0.6P減（改善）
 - ・防災用名簿「作成されている」割合：13.0% ※前回から、+0.5P増（改善）

